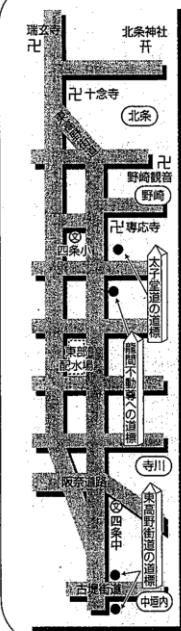


# 今物語 第17話

## 東高野街道と周辺の道標



東高野街道は「山の根の道」とも呼ばれた京都と高野山を結ぶ街道で、平安の昔より存在したものでした。

鳥羽より淀・八幡・洞峠を越え河内に入り、郡津・星田・打上を経て四條畷・大東の生駒山系の山すそを南下。八尾・柏原・富田林を通り河内長野で西高野街道と合流し紀見峠・橋本を経て高野山に至る古道です。

大東市の本来の東高野街道は北条6丁目(十念寺の所)から野崎観音・専応寺前・四条小学校の東側を通り、寺川・四条中学校付近を通る道を指し、今はほとんど昔の面影はありませんが、寺・野崎観音・

道標で当時を知ることができます。

○太子堂道の道標(専応寺)

野崎観音南門を下ると、左に専応寺があります。昔はこの道から

鳥羽より淀・八幡・洞峠を越え河内に入り、郡津・星田・打上を経て四條畷・大東の生駒山系の山すそを南下。八尾・柏原・富田林を通り河内長野で西高野街道と合流し紀見峠・橋本を経て高野山に至る古道です。

○龍間不動尊への道標

車がなく徒歩に頼っていたころ、龍間への往復は中垣内からの道(古堤街道)と、この里道以外にありませんでした。龍間の児童が毎日、四条小学校へ登下校したのも、この山道でした。

今は野崎新池・宝塔神社、さらに龍間へのハイキングコースとして、親しまれる古道となっています。

○東高野街道の道標

もとは東高野街道と古堤街道の交差点に立っていましたが、現在は古堤街道の龍間よりに立っています。

○太子堂道の道標(専応寺)

峰山への道するべ、もう一つは龍間山不動尊への道するべです。

高野街道に出るまでに左に折れ、専応寺に通じる道路があり、その角に道標が立っています。

○龍間不動尊への道標

車がなく徒歩に頼っていたころ、

龍間への往復は中垣内からの道(古

堤街道)と、この里道以外にありま

せんでした。龍間の児童が毎日、四

条小学校へ登下校したのも、この山

道でした。

今は野崎新池・宝塔神社、さらに

龍間へのハイキングコースとして、親

しまれる古道となっています。

○東高野街道の道標

もとは東高野街道と古堤街道の交

差点に立っていましたが、現在は

古堤街道の龍間よりに立っています。

○太子堂道の道標(専応寺)

峰山への道するべ、もう一つは龍間

山不動尊への道するべです。

# 今物語 第18話

## 古堤街道と周辺の道標

大和と河内を結ぶ道は、古来

勿入淵跡顕彰碑

機会に淨財を集め、この尊像を

河内平野の中で特に低湿な

おまつりしたのが太子堂です。

生駒山系を越える幾つかの峠道

が開かれ、その一つに、本市域の

峠道として中垣内越えがありま

した。

峠道として中垣内越えがありま

した。